

群馬大工<sup>A</sup>, 埼玉医大<sup>B</sup>, 群馬大教<sup>C</sup>, 前橋育英高等学校<sup>D</sup>

玉置豊美<sup>A</sup>, 高橋 浩<sup>A</sup>, 赤羽 明<sup>B</sup>, 所澤 潤<sup>C</sup>, 森下貴司<sup>D</sup>, 滝沢俊治<sup>A</sup>

Meiji Era Physics & School Science Text Books stored in Gunma University Library

Faculty of Engineering Gunma University<sup>A</sup>, Saitama Medical College<sup>B</sup>,

Faculty of Education Gunma University<sup>C</sup>, Maebashi Ikuei High School<sup>D</sup>

Toyomi Tamaki<sup>A</sup>, Hiroshi Takahashi<sup>A</sup>, Akira Akabane<sup>B</sup>, Jun Shozawa<sup>C</sup>,

Takashi Morishita<sup>D</sup>, Toshiharu Takizawa<sup>A</sup>

平成 13 年 6 月、我々は群馬大学附属図書館本館書庫並びに特殊資料室に大量の未登録明治期教科書があることを知った<sup>1)</sup>。蔵書の多くは旧群馬県師範学校、群馬県女子師範学校から継承されたものであった。これらの資料は、物理学史のみならず、広く科学史、教育史の基礎資料となりうるものである。そこで、図書館の同意のもとに我々グループで目録化する作業を行っている。さらに、平成 15 年 1 月、ホームページを開設し、現在、数冊の図書の画像と我々の活動状況を公開している<sup>2)</sup>。図書の画像は近い将来に飛躍的に増加する見込みである。

上記群馬大学資料の総数はおよそ 3000 冊であるが、その中、理系和装本 276 冊についてはすでに目録化が完成した。我々はそれらを物理、化学、博物、生理、総合科学・理科、地文の科目に分類した。各科目中の冊数は 55、58、26、44、91、2 冊である。学会では目録の概要を紹介する。またそれらの図書を最初に所蔵した組織について蔵書印から考察する。

上記資料中の特殊なものとして、群馬県女子師範学校郷土研究室の蒐集本があった。それらは昭和 6 年に収集され、同研究室で独自にラベル化されたものであることがわかってきた<sup>3)</sup>。また多くが生徒の使用済み教科書であったため、群馬県における明治期教育の現場を知る手がかりともなっている。これらの蒐集本については、ラベルの全容と、その中における物理・科学系本について述べる。昭和 7 年に群馬県女子師範学校創立 30 周年の記念行事として郷土室展覧会が行なわれた。その際に印刷された郷土研究室公開の展示目録と郷土室概要が図書館に保存されている。前者には「群馬県明治初年以後三十七八年に至る小學校教科書」という表示があり、後者には「本校郷土室備品数 イ 圖書」の中に「7 教育 (舊小學校教科書が主) 679 部」と記されている。現在のところ、679 部のうちの 8 割が見つかっている。

1) 大学の物理教育 2001-2 p2, p72 日本物理学会 2001.7.15 発行

2) <http://www.madlabo.com/mad2/meiji-text/>

3) 玉置豊美 「群馬大学附属図書館書庫と特殊資料室に保管されている群馬県女子師範学校郷土研究室蒐集本の背景」 群馬大学図書館報 LINE <特集 教科書から見えてくるもの> No.287 pp6-12 2002.12.25 発行